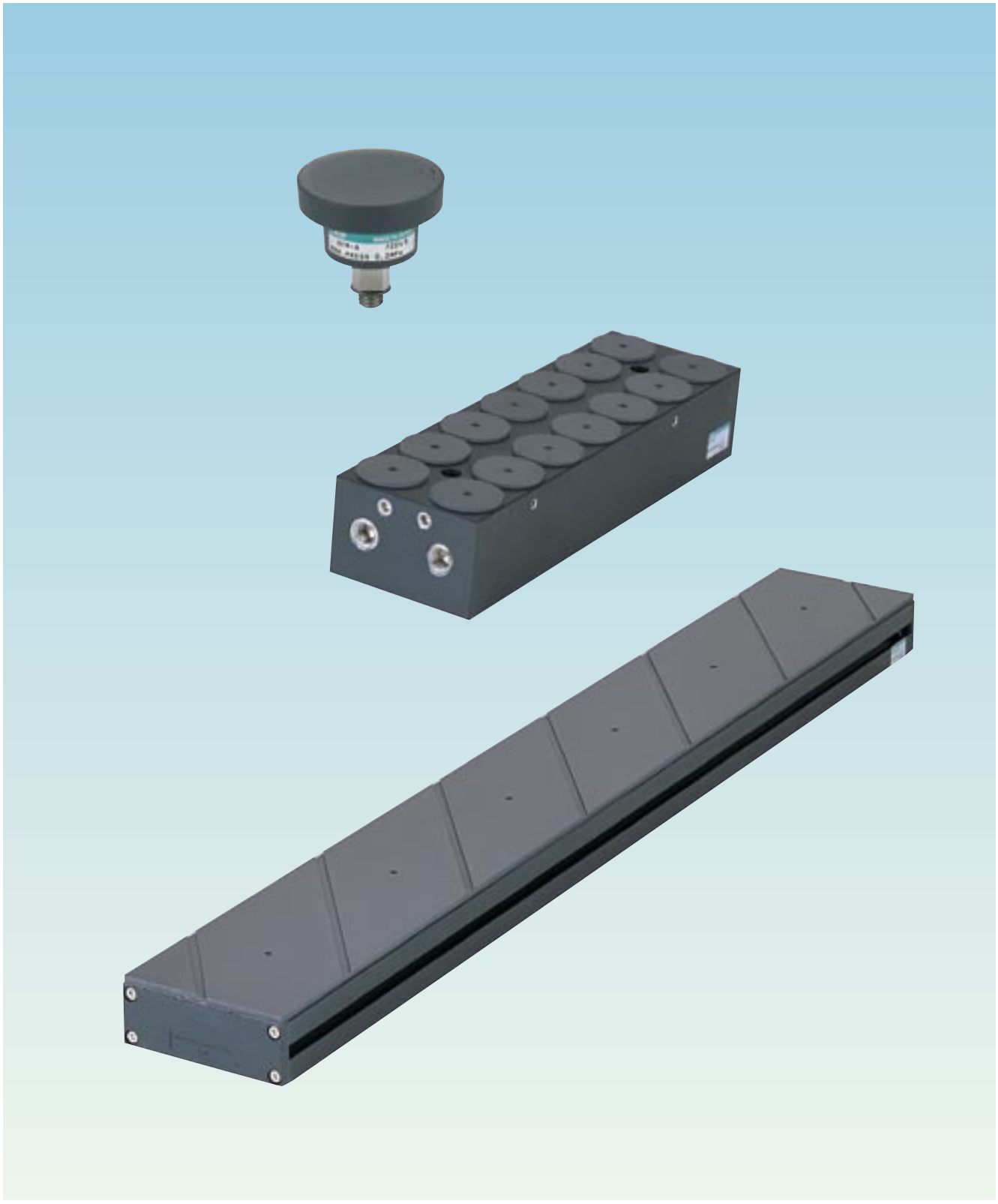
CKD

ライン革命　品質・歩留まり向上に貢献。

新商品

フロートスター
GFMシリーズ

GLASS FLOAT MODULE

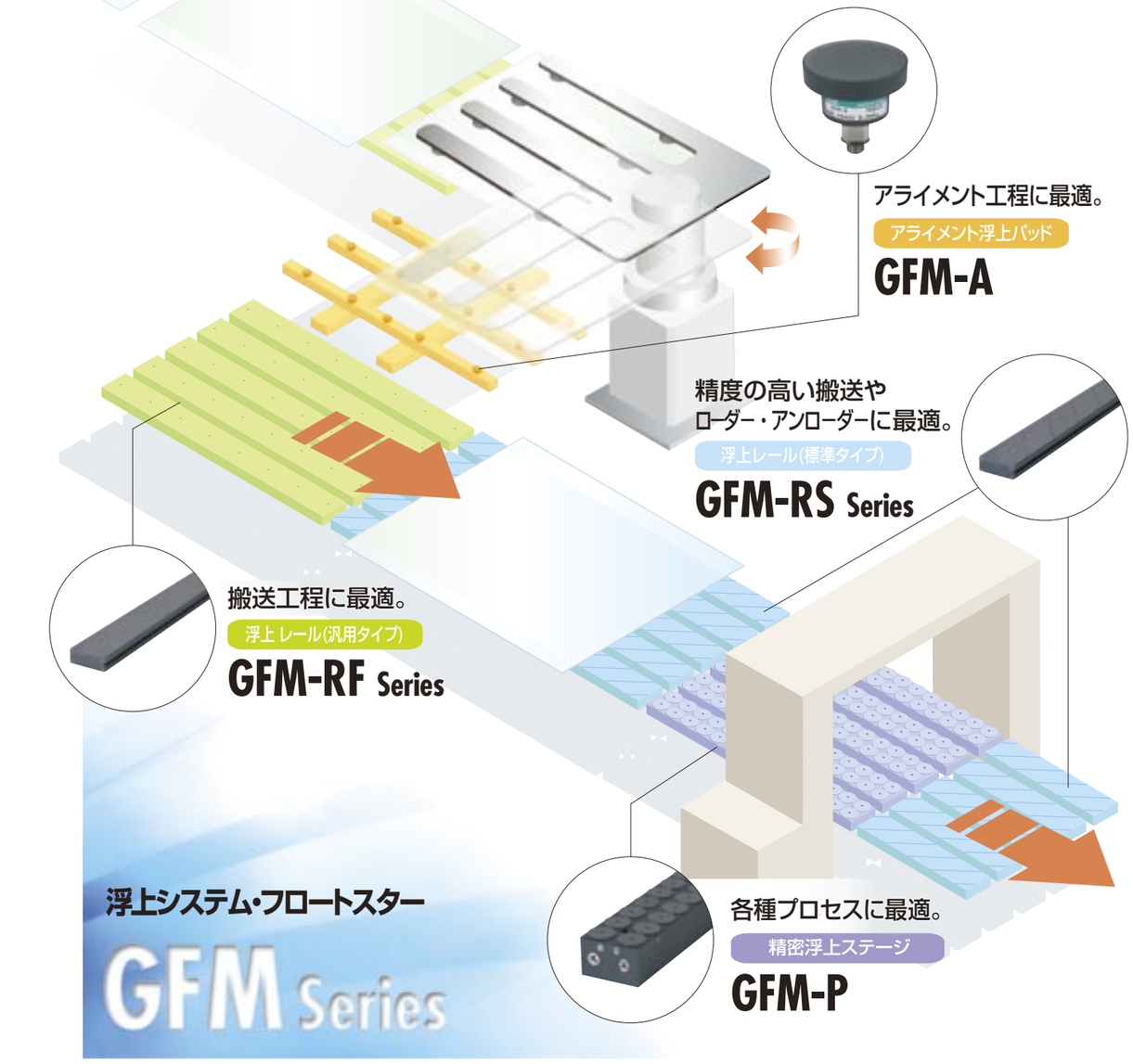


CKD株式会社
CC-883

ライン革命　品質・歩留まり　向上に貢献

非接触・クリーン・ダメージレス搬送が一段と進化した
最新のCKD浮上システム・フロートスターGFMシリーズ。
新素材の採用により、エア消費量の大幅低減、静電気&パーティクル発生の
抑制で高品質な浮上システムを実現します。

ガラス基板等の搬送からプロセス、製品検査に至るまで、
基板の浮上用途・高精度浮上に対応します。



非接触で安定した高精度浮上

新素材多孔質の採用により、安定した浮上が実現し、
あわせて空気消費量が低減しました。

ワークへの帯電を防止

帯電防止の新素材によって静電気を抑制します。

クラス10レベルを実現※

新素材多孔質により浮上エアのパーティクルを抑制。
※GFMシリーズの当社テストによる

高感度検査に最適

ブラックボディの採用により、乱反射がなく、
ワークの視認性がアップします。

豊富なアプリケーション

浮上に最適な空気圧機器を提案いたします。

■GFMシリーズ製品体系

機種バリエーション	主用途	浮上量[μm]	エア消費量ℓ/min(abs)(0.1MPa時)※1	ページ
GFM-A	位置決め	10μm以上	3–10	1
GFM-RF Series	搬送	250μm以上	15–20	3
GFM-RS Series	ローダー・アンローダー	150μm以上	15–20	3
GFM-P	各種プロセス	30μm※2	2–3	7

※1 流量の目安とお考えください。
※2 正圧・負圧流量の組合わせで、数値が変わります。

本製品を安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずお読みください

当社製品を使用した装置を設計製作される場合には、装置の機械機構と空気圧制御回路または水制御回路とこれらをコントロールする電気制御によって運転されるシステムの安全性が確保できる事をチェックして安全な装置を製作する義務があります。
当社製品を安全にご使用いただくためには、製品の選定及び使用と取扱い、ならびに適切な保全管理が重要です。
装置の安全性確保のために、警告、注意事項を必ず守ってください。
なお、装置における安全性が確保できることをチェックして安全な装置を製作されるようにお願い申し上げます。

⚠ 警告

1 本製品は、一般産業機械用装置･部品として設計、製造されたものです。よって、取り扱いは充分な知識と経験を持った人が行ってください。

2 製品の仕様範囲内でのご使用を必ずお守りください。

製品固有の仕様外での使用は出来ません。また、製品の改造や追加工は絶対に行わないでください。
なお、本製品は一般産業用装置・部品での使用を適用範囲としておりますので、屋外での使用、および次に示すような条件や環境で使用する場合には適用外とさせていただきます。
（ただし、ご採用に際し当社にご相談いただき、当社製品の仕様をご了解いただいた場合は適用となりますが、万一故障があっても危険を回避する安全対策を講じてください。）
❶原子力･鉄道･航空･船舶･車両･医療機械、飲料・食品などに直接触れる機器や用途、娯楽機器･緊急遮断回路･プレス機械･ブレーキ回路･安全対策用など、安全性が要求される用途への使用。
❷人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用。

3 装置設計･管理等に関わる安全性については、団体規格、法規等を必ずお守りください。

ISO4414、JIS B 8370（空気圧システム通則）
JFPS2008（空気圧シリンダの選定及び使用の指針）
高圧ガス保安法、労働安全衛生法および その他の安全規則、団体規格、法規など。

4 安全を確認するまでは、本製品の取り扱いおよび配管・機器の取り外しを絶対に行わないでください。

❶機械･装置の点検や整備は、本製品が関わる全てのシステムにおいて安全であることを確認してから行ってください。
❷運転停止時も、高温部や充電部が存在する可能性がありますので、注意して行ってください。
❸機器の点検や整備については、エネルギー源である供給空気や供給水、該当する設備の電源を遮断し、システム内の圧縮空気は排気し、水漏れ・漏電に注意して行ってください。
❹空気圧機器を使用した機械･装置を起動または再起動する場合、飛び出し防止処置等システムの安全が確保されているか確認し、注意して行ってください。

5 事故防止のために必ず、次頁以降の警告及び注意事項をお守りください。

■ここに示した注意事項では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区別してあります。

⚠ **危険**（DANGER）：取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合。
⚠ **警告**（WARNING）：取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。
⚠ **注意**（CAUTION）：取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

なお「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

免責事項

1. 当社は、当該製品の使用もしくは使用上の不具合から発生した事業の中断、利益の損失、人身傷害、遅滞費用、またはいかなる付随的・間接的な損失・費用・損害の責任を負うものではありません。
2. 当社は、以下の損害について一切責任を負いません。
   ①天災、CKDの責に帰さない原因による火災、第3者あるいはお客様の故意または過失等により当該製品が故障した場合の損害。
   ②当該製品を貴社の機器に組込み使用される際、貴社の機器が業界の通念上備えられている機能・構造などをもっていれば回避できたであろう損害。
   ③当社カタログあるいは取扱説明書等に記載された仕様の範囲を超えて使用された場合、及び取付、据付、調整、保守等の注意事項に記載された以外の行為がされた場合の損害。
   ④当社が認めていない製品の改造、他のソフトウェア、他の接続機器との組み合せによる不具合からの損害。

本製品を安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずお読みください。

個別注意事項：フロートスター　GFMシリーズ

設計・選定時

1. 共通

⚠警告

■必ず製品仕様内でご使用ください。
仕様範囲以外での使用では、多孔質の破損の原因になりますので使用しないでください。

■屋外及び粉塵の多い環境、直射日光を避けて設置してください。
腐食性ガス、可燃性ガスのある場所では使用しないでください。また、絶対に吸い込ませないでください。

■本製品は圧縮空気用です。他の流体は使用しないでください。

■製品に追加工を行わないでください。加工歪みなどにより精度劣化、強度劣化を招く可能性があります。

⚠注意

■乾燥した清浄な圧縮空気「等級　1.6.2」（固形粒子0.1μm、圧力露点10℃、油分濃度0.1mg/m^3）をお使いください。
（等級はJIS　B　8392-1：2000による圧縮空気品質等級に基づきます。）
＜CKDスーパードライヤDシリーズ、CKDインライン形クリーンフィルタFCSシリーズのご使用を推奨します。＞

2. 首振りタイプGFM-A

⚠警告

■ネジで固定しているパッドにて旋回動作を行う場合にはご注意ください。
旋回によりネジの緩みが生じトラブルの原因となる危険性があります。

■吸着移動させる場合は、加速度、衝撃、風圧を考慮してください。
移動中に吸着物が離脱する危険性があります。

3. レールタイプGFM-R※/精密タイプGFM-P

⚠注意

■お客さまの装置の取り付け寸法に合わせた配管接続用のブラケットを別途用意してください。
＜別途ブラケットキットを用意しております。ご相談ください。＞

■本製品取付けのネジ部はエア流路に貫通しているため、ネジ部よりエア漏れが発生する可能性があります。
＜GFM-Rシリーズのみ＞
＜取付けブラケットキットをお使いいただくことで防ぐことができます。＞

輸出に際して

⚠注意

■本カタログに掲載する商品の中に輸出貿易管理令の対象品が含まれており、対象品については各ページに記載しております。対象品または対象品を含む装置を輸出する場合には法令を順守してください。

取付・据付・調整時

1. 共通

⚠警告

■運転前に、負荷や継手締結部の緩み、異常がないことを確認してください。

■機器が適正に作動することを確認してから使用してください。
取付、修理、改造後に、適正な機能検査を行って正しい取付がなされていることを確認してください。

■機械の干渉、作動システムに異常がないことを確認してください。
ワーク移動時にワークと本製品が干渉しないように装置システム上で充分な安全策を講じてください。

⚠注意

■配管実施直前まで、包装袋から出さないでください。
配管ポートから異物が混入し、故障の要因となります。

■配管の際には、配管内の異物・切粉等を除去するため、エアフラッシングを必ず行ってください。

■取扱説明書は必ず読んでください。
内容を理解した上で製品をご使用ください。

■設置面あるいは設置部はエタノール拭き、エアブロー等により異物を除去してください。

2. 首振りタイプGFM-A

⚠警告

■本製品は、ボディ部（多孔質面）が傾きます。ワークとの干渉を避ける為、ワークの浮上・吸着時前後には、本製品がワークから離れたところに位置するなど、装置システム上にて充分な安全策を講じてください。

⚠注意

■製品の固定は、製品下端の配管接続用M5ねじをご使用し、適正トルクで締め付けてください。
締付けの際は、二面幅を必ずご使用ください。
［締付けトルク：1.0～1.5（N・m)］
また、取付け後に装置等の運搬を行う場合は、装置設置後に、適切トルクであることを確認してください。

■本製品は、構造上供給空気のON/OFFによりボディ部（多孔質面）がわずかに上下します。
ワークの浮上・吸着時前後の動作については、装置システム上にて充分な配慮をしてください。

3. レールタイプGFM-R※、精密タイプGFM-P

⚠警告

■本製品のカーボングラファイトは脆性材料ですので衝撃を加えると破損し、破片が飛んだり、落下したりして身体を傷つける恐れがあります。

⚠注意

■製品のMねじを使用時には適正トルクで締付けてください。

接続ねじ	締付けトルク（N・m）
M4	0.5～0.6
M5	1.0～1.5

■本製品を配管する際に小型ジョイント（バーブ継手、クランプ継手）に類する継手を使わないでください。有効断面積が小さくなり流量が十分に得られない場合があります。

使用・メンテナンス時

1. 共通

⚠警告

■保守点検は、取扱説明書に従い注意深く行ってください。
取扱いを誤ると、機器や装置の破損や作動不良の原因となります。

⚠注意

■メンテナンス管理が正しく実施されるように日常点検、定期点検を計画的に実施してください。
メンテナンス不十分の場合、製品機能が著しく低下し短寿命、破損、誤作動などの不具合を招きます。

■漏れ量が増大したり機器が適正に作動しない場合は、使用しないでください。
取付、修理、改造後に、適正な機能検査を行って正しい取付がなされていることかを確認してください。

■製品の取り付け、取り外し時には必ず残圧を排出してから作業してください。

■長時間使用しないときは、乾燥した清浄な環境にてポリエチレン袋などに入れて保管してください。

■本製品を最適機能でご使用いただくために1～2回/年、下記定期点検を行ってください。
①外部への漏れの有無の確認
②浮上性能の低下
③外観不良（キズ、多孔質の欠け、表面の汚れ）の確認

浮上システム・フロートスター

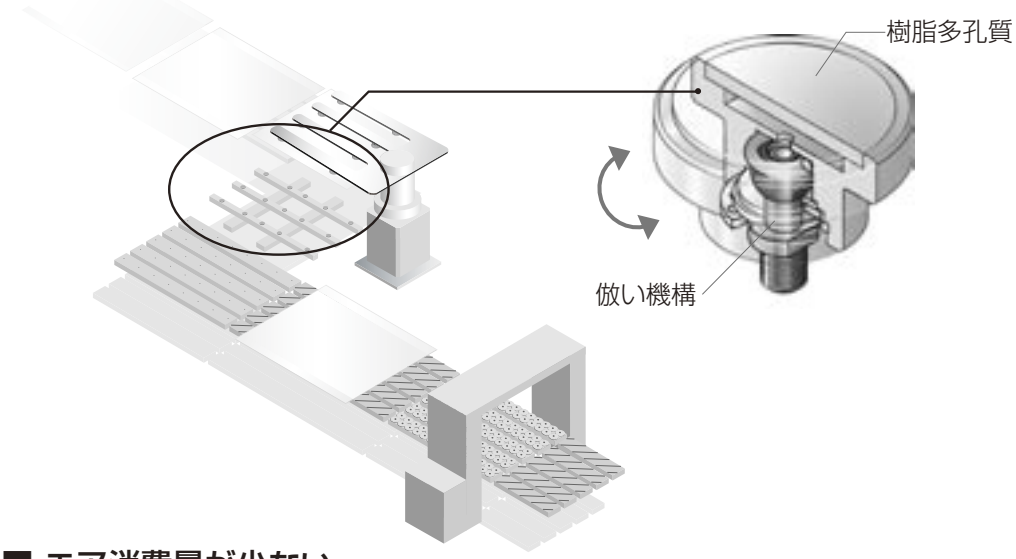
アライメント浮上パッドGFM-A

たわみに対応自在な首振りタイプ。
● 目安浮上量：10μm以上　● 主用途：アライメント

輸出貿易管理令該当品

新素材樹脂多孔質と独自の倣い機構の採用により、たわみに対応してアライメントを可能にします。

■ CKD独自の"樹脂多孔質＋倣い機構"を採用（PAT.P）



■ エア消費量が少ない

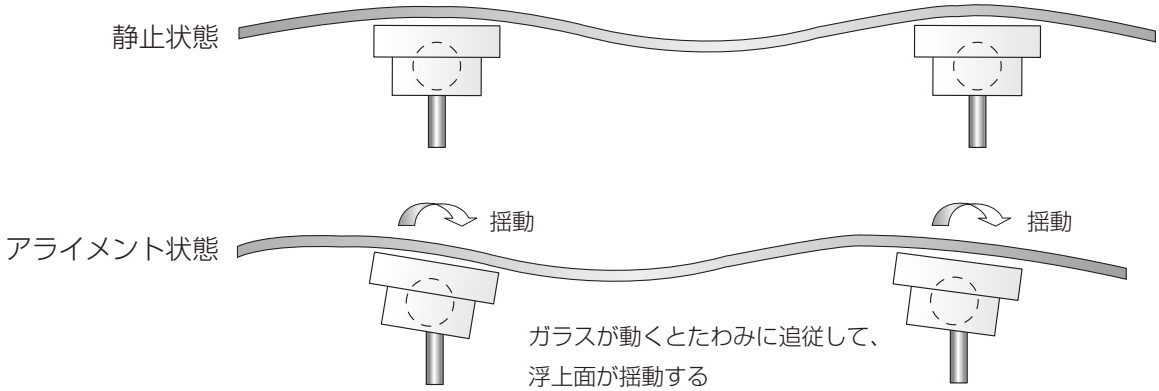
多孔質の採用により、エア消費流量が1/2※に低減しました。
※GFM-Aの当社テストによる

■ 帯電防止

帯電防止の樹脂多孔質によって静電気を抑制することが可能です。

■ たわみに自在対応

大型ガラス基板などのたわみに追従して非接触浮上が可能です。(イメージ図)



仕様

項　目		GFM-A
使用流体		圧縮清浄空気［等級1.6.2］
使用圧力範囲 kPa	浮上時	80～200
	吸着時	−90～−60
周囲温度 ℃		5～40
取付姿勢		多孔質面を上にした状態に限る
負荷荷重 N 注1		1～5
空気消費量 ℓ/min 注1		10以下
吸着保持力 N		5以下（吸着面垂直方向）
接続口径		M5
質量 g		約15

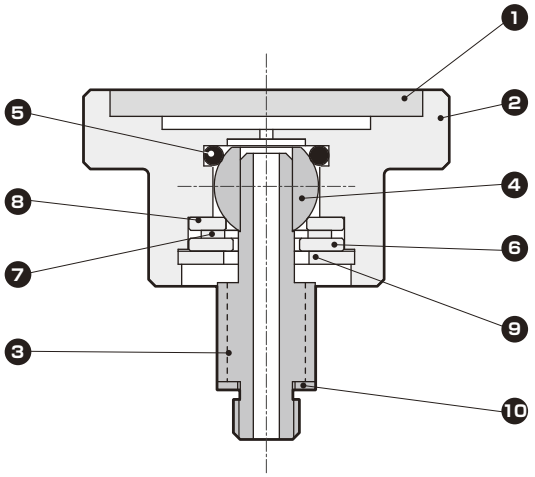
注1：供給空気圧力100kPa時の値になります。

形番表示方法

GFM - A

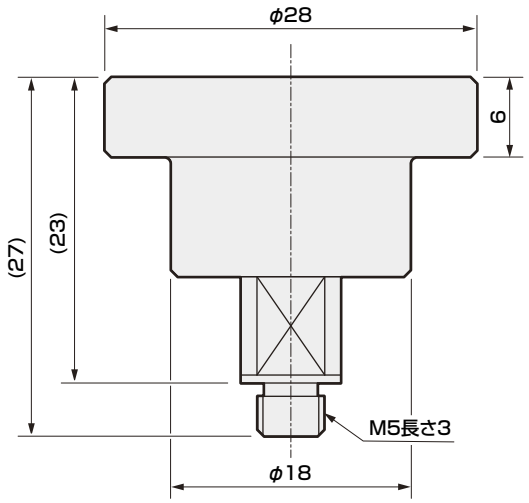
機種形番

内部構造および部品リスト



品番	部品名称	材質	備考
1	多孔質	ポリフェニレンサルファイド	カーボンファイバ入り
2	ボディ	ポリフェニレンサルファイド	カーボンファイバ入り
3	シャフト	ステンレス鋼	
4	鋼球追加工	ステンレス鋼	
5	Oリング（S−7）	ニトリルゴム	
6	金属ワッシャ	ステンレス鋼	
7	波座金 自動車用	ステンレス鋼	
8	金属ワッシャ	鉄鋼	無電解ニッケルメッキ
9	穴用C形止め輪	ステンレス鋼	
10	ガスケット	ニトリルゴム・鋼	

外形寸法図



浮上システム・フロートスター

浮上レールGFM-R$^{F}_{S}$ Series

●浮上量：150μm以上　●主用途：搬送

受注生産品

新素材カーボングラファイト多孔質と独自設計により、確実性の高い浮上搬送を可能にします。

■ CKD独自の設計（PAT.P）

CKDで長年培われた流体技術を応用。
確実に浮上ができる浮上面形状を実現しました。

■ 帯電防止

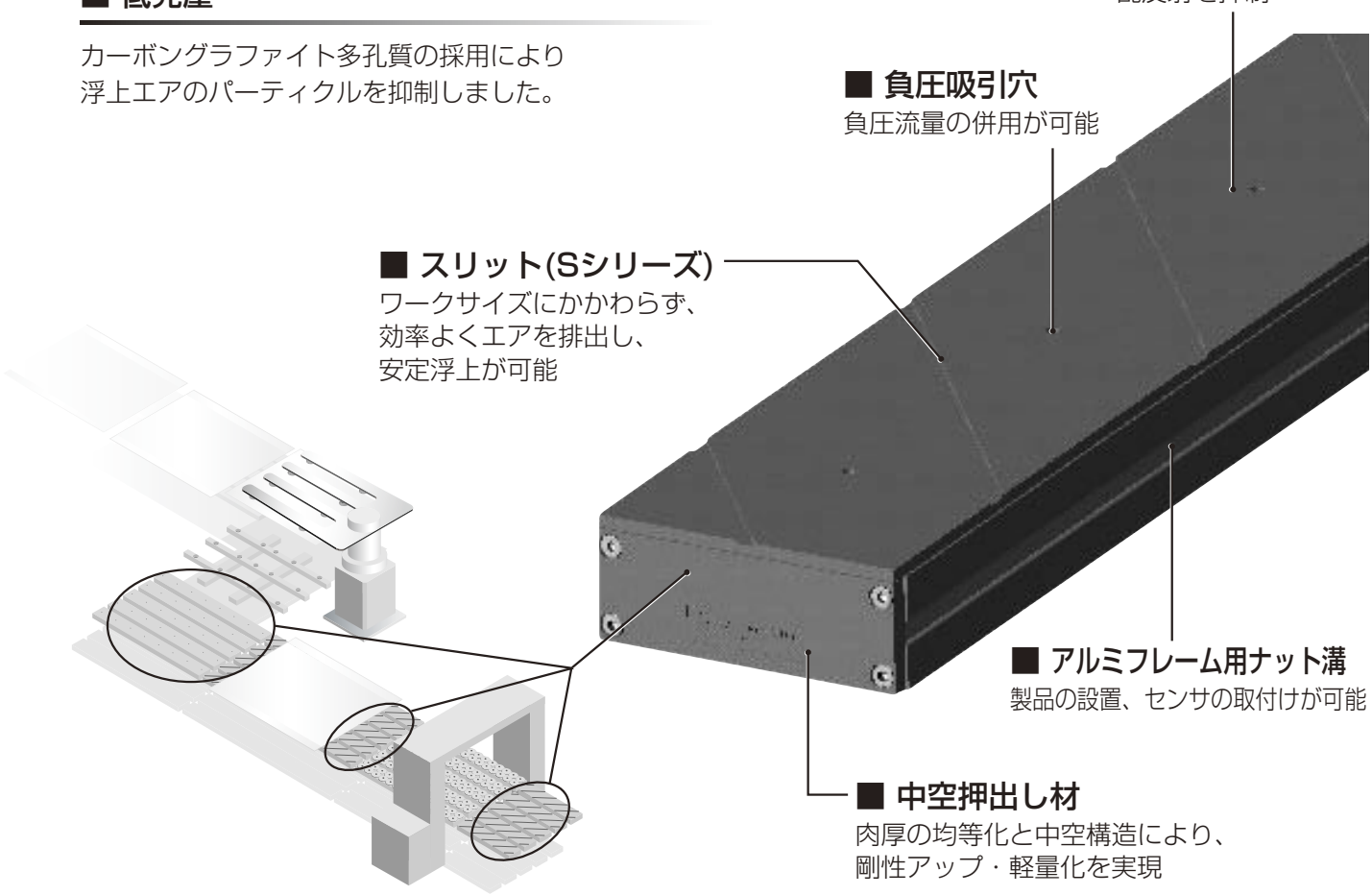
多孔質にカーボングラファイトを採用したことにより、帯電防止を実現しました。
多孔質を透過する浮上エアは流速が遅くなり、ワークへの帯電もありません。

■ 安定した浮上

多孔質の採用とエア通路の最適配置により、広い面積で安定した浮上ができます。

■ 低発塵

カーボングラファイト多孔質の採用により
浮上エアのパーティクルを抑制しました。



仕様

項　目		GFM-RS-500 GFM-RF-500	GFM-RS-750 GFM-RF-750	GFM-RS-1000 GFM-RF-1000
製品サイズ（L×W×H） mm		501×102×40	751×102×40	1001×102×40
浮上面サイズ（L×W） mm		500×100	750×100	1000×100
使用流体		圧縮清浄空気［等級1.6.2］		
使用温度範囲 ℃		5～40		
使用圧力	正圧 MPa	0～0.2		
範囲	負圧 kPa	−50～0		
消費流量 ℓ/min 注1		約12	約18	約24
浮上高さ μm 注2		約150（GFM-RS）/約250（GFM-RF）		
質量 kg		約1.9	約2.7	約3.6

注1：0.1MPaの供給時の消費流量を表します。消費流量はワークの状態、必要な浮上量で変わります。流量計算の目安とお考えください。
注2：0.1MPaの供給時。厚さ0.7mmのガラスを浮上したときの値となります。浮上高さの目安とお考えください。

形番表示方法

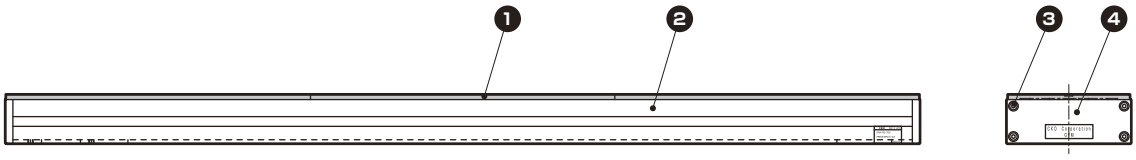
GFM - RS - 500

- GFM：機種形番
- RS：㋑表面形状
- 500：㋺浮上面長さ

記号	内　容
㋑表面形状	
RS	スリットあり
RF	スリットなし

㋺浮上面長さ（mm）
500
750
1000

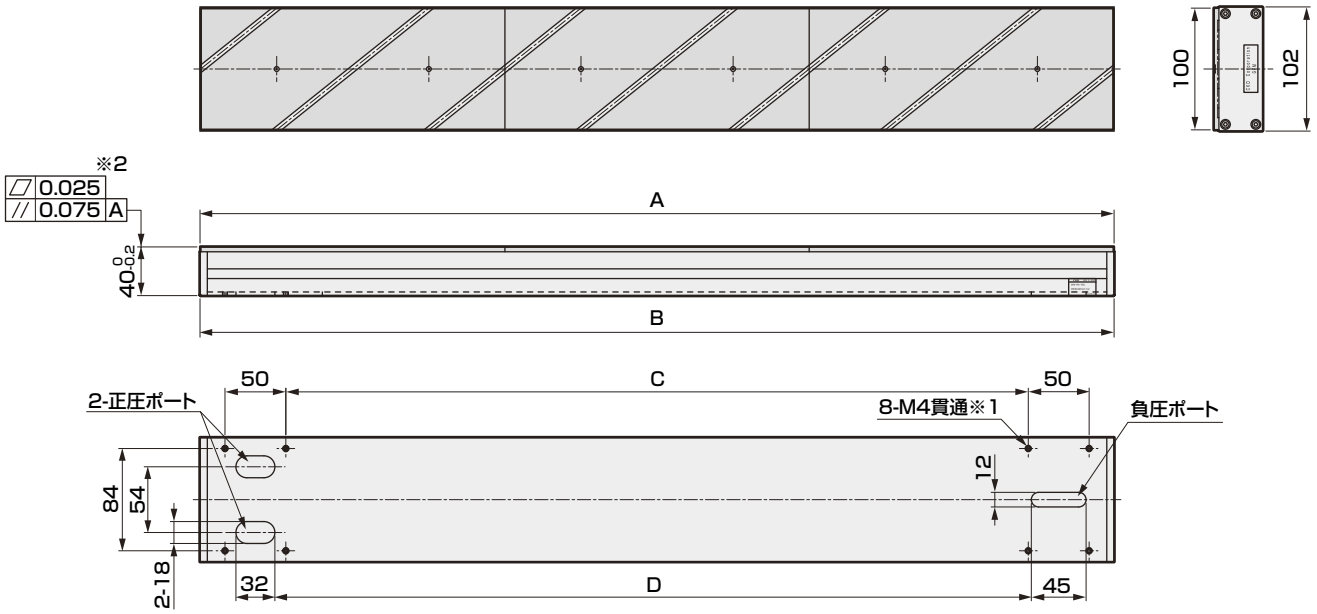
外観および部品リスト



品番	部品名称	材質	備考
1	多孔質	カーボングラファイト	
2	ベース	アルミ合金	黒アルマイト処理
3	六角穴付きボルト	ステンレス鋼	
4	フタ	ABS樹脂	

外形寸法図

● スリットありGFM-RS

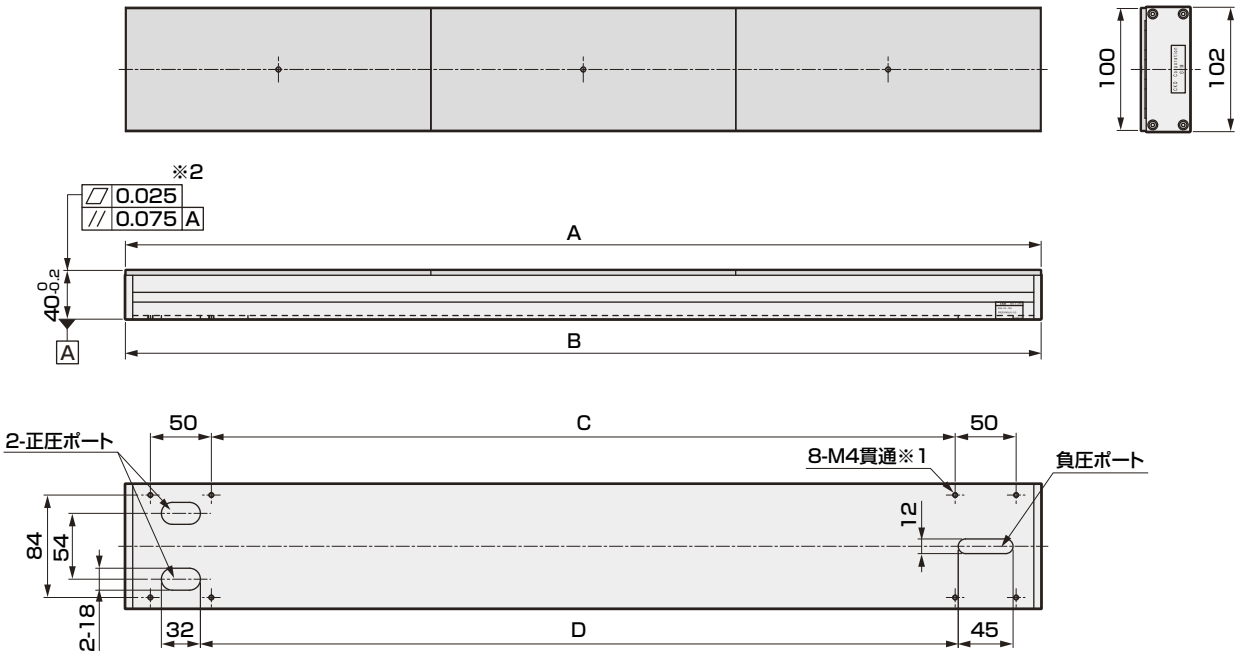


※1：正圧ポートに貫通します。
※2：25℃の恒温室での測定値です。25℃から外れる雰囲気では精度が変化します。
GFM-RS-1000は平面度0.05、平行度0.1となります。

形番	A	B	C	D
GFM−RS−500	500	501	360	371.5
GFM−RS−750	750	751	610	621.5
GFM−RS−1000	1000	1001	860	871.5

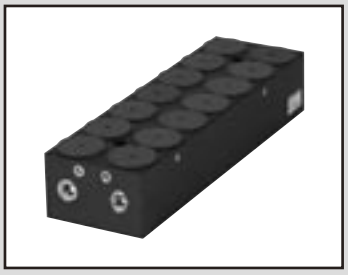
外形寸法図

● スリットなしGFM-RF



※1：正圧ポートに貫通します。
※2：25℃の恒温室での測定値です。25℃から外れる雰囲気では精度が変化します。
GFM-RF-1000は平面度0.05、平行度0.1となります。

形番	A	B	C	D
GFM−RF−500	500	501	360	371.5
GFM−RF−750	750	751	610	621.5
GFM−RF−1000	1000	1001	860	871.5



浮上システム・フロートスター

精密浮上ステージGFM-P

●浮上量：30±6μm　●主用途：各種検査工程、プロセス工程

受注生産品

新素材カーボングラファイト多孔質と独自設計により極めて高精度な浮上を可能にします。

■ CKD独自の設計（PAT.P）

CKDで長年培われた流体技術を応用。
高精度な浮上ができる浮上面形状を実現しました。

■ 高精度

超精密加工で高い平面度と平行度を実現しました。

■ 高い浮上精度

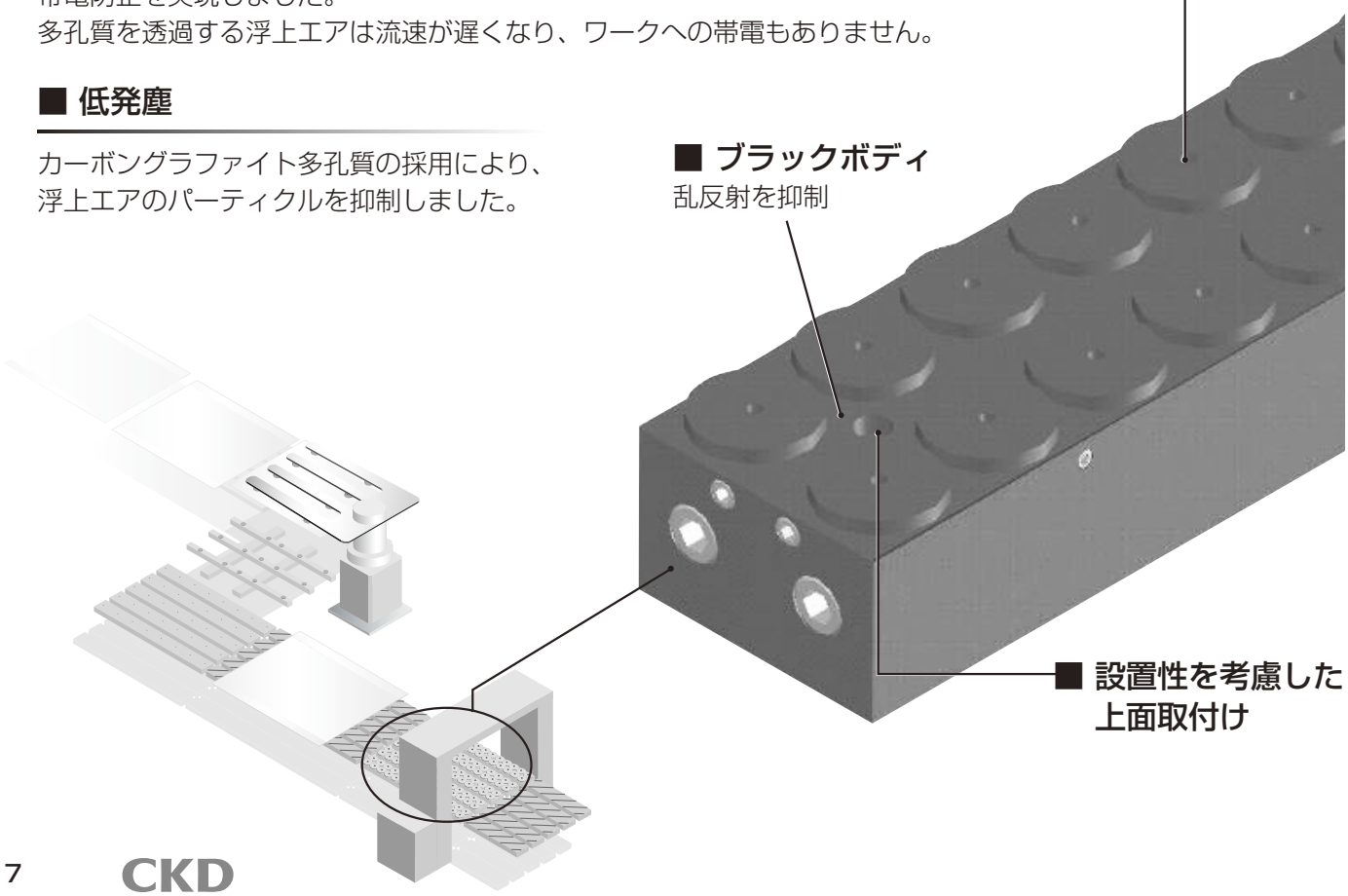
正圧、負圧流量の併用で、高精度浮上を可能にしました。

■ 帯電防止

カーボングラファイトを採用したことにより
帯電防止を実現しました。
多孔質を透過する浮上エアは流速が遅くなり、ワークへの帯電もありません。

■ 低発塵

カーボングラファイト多孔質の採用により、
浮上エアのパーティクルを抑制しました。



仕様

項　目		GFM-P
製品サイズ（L×W×H） mm		250×76×50
浮上面サイズ（L×W） mm		250×76
使用流体		圧縮清浄空気［等級1.6.2］
使用温度範囲 ℃		5～40
使用圧力	正圧 MPa	0～0.2
範囲	負圧 kPa	−50～0
浮上平面度 μm 注1		12μm以下（30μm浮上時）
消費流量 ℓ/min 注2		約2～3
浮上高さ μm 注3		約70
質量 kg		約2.2

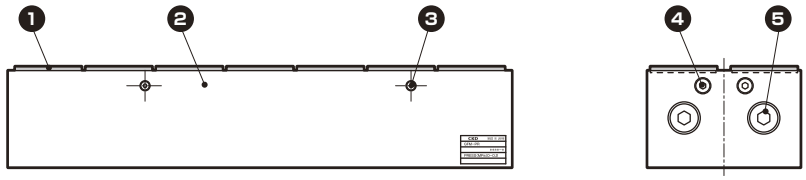
注1：浮上面のMAX-MINの差を表します。供給流量条件はワークの状態、お客様のご使用条件で変わります。浮上平面度の目安とお考えください。
注2：0.1MPa供給時の消費流量を表します。消費流量はワークの状態、必要な浮上量で変わります。流量計算の目安とお考えください。
注3：0.1MPa供給時。厚さ0.7mmのガラスを浮上したときの値となります。浮上高さの目安とお考えください。

形番表示方法

GFM-P

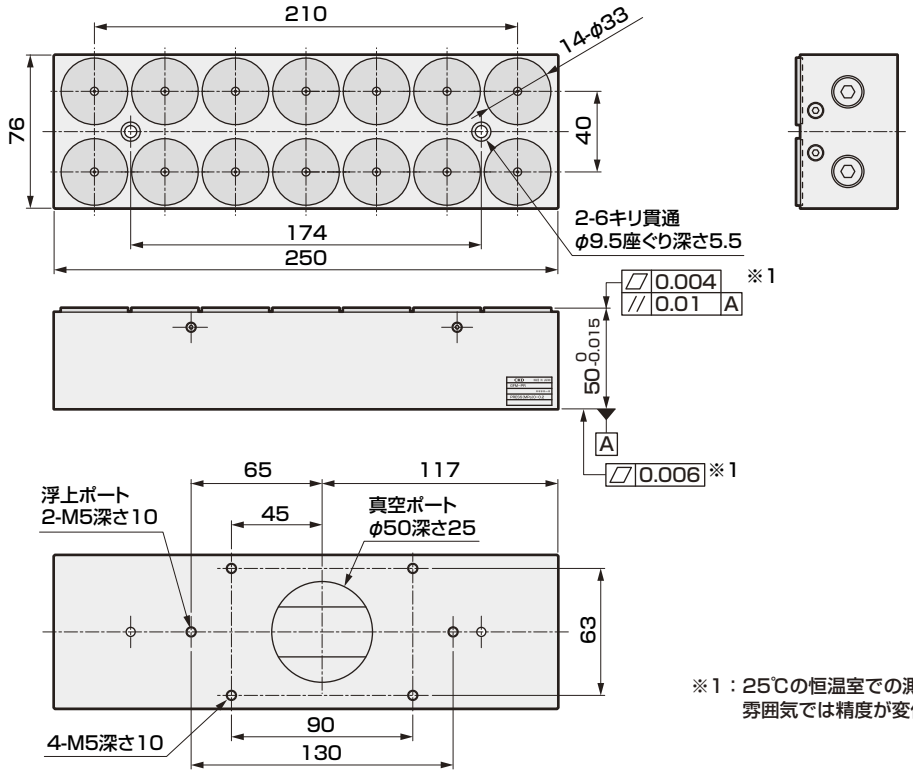
機種形番

外観および部品リスト



品番	部品名称	材質	備考
1	多孔質	カーボングラファイト	
2	ベース	アルミ合金	黒色アルマイト処理
3	六角穴付き止めねじ	ステンレス鋼	
4	六角穴付き止めねじ	ステンレス鋼	
5	六角穴付き止めねじ	ステンレス鋼	

外形寸法図



※1：25℃の恒温室での測定値です。25℃から外れる雰囲気では精度が変化する場合があります。

お問合せは
お近くの営業所へどうぞ

CKD株式会社

北　海　道

●札幌営業所
〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26（苗穂駅前ビル1階）
TEL（011）232-1760　FAX（011）232-9050

東　　北

●北上営業所
〒024-0034 岩手県北上市諏訪町2-4-26
TEL（0197）63-4147　FAX（0197）63-4186
●仙台営業所
〒984-0015 仙台市若林区卸町2-2-1（パックス2・1階）
TEL（022）239-1851　FAX（022）239-1856
●山形営業所
〒990-0834 山形県山形市清住町3-5-19
TEL（023）644-6391　FAX（023）644-7273
●郡山営業所
〒963-8034 福島県郡山市島1-16-9
TEL（0249）23-6348　FAX（0249）24-0862

北　関　東

●大宮営業所
〒330-0812 さいたま市北区宮原町3-429-1（第一清水ビル2階）
TEL（048）652-3811　FAX（048）652-3816
●茨城営業所
〒300-0847 茨城県土浦市卸町1-1-1（関鉄つくばビル4階C）
TEL（029）841-7490　FAX（029）841-7495
●宇都宮営業所
〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷3-1-7（NBF宇都宮ビル3階）
TEL（028）638-5770　FAX（028）638-5790
●太田営業所
〒373-0813 群馬県太田市内ケ島町946-2（大槻総合ビル1階）
TEL（0276）45-8935　FAX（0276）46-5628

南　関　東

●東京営業所
〒105-0013 東京都港区浜松町1-31-1（文化放送メディアプラス4階）
TEL（03）5402-3628　FAX（03）5402-0122
●立川営業所
〒190-0022 東京都立川市錦町3-2-30（朝日生命立川錦町ビル3階）
TEL（042）527-3773　FAX（042）527-3782
●千葉営業所
〒274-0825 千葉県船橋市前原西2-12-15（朝日生命津田沼ビル5階）
TEL（047）470-5070　FAX（047）493-5190
●横浜営業所
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-17-19（日総第15ビル4階）
TEL（045）475-3471　FAX（045）475-3470
●厚木営業所
〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲1212-3
TEL（046）226-5201　FAX（046）226-5208
●甲府営業所
〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1509
TEL（055）224-5256　FAX（055）224-3540
●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-31-1（文化放送メディアプラス4階）
TEL（03）5402-3620　FAX（03）5402-0120

北　陸・信　越

●長岡営業所
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-4-33（高野不動産ビル2階）
TEL（0258）33-5446　FAX（0258）33-5381
●上田営業所
〒386-0034 長野県上田市大字中之条323-6（NFビル103号）
TEL（0268）24-2392　FAX（0268）24-2394
●松本営業所
〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5945
TEL（0263）25-0711　FAX（0263）25-1334
●富山営業所
〒939-8071 富山県富山市上袋100-35
TEL（076）421-7828　FAX（076）421-8402
●金沢営業所
〒920-0025 石川県金沢市駅西本町3-16-8
TEL（076）262-8491　FAX（076）262-8493

東　　海

●名古屋営業所
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1371　FAX（0568）77-3291
●豊田営業所
〒473-0912 愛知県豊田市広田町広田103
TEL（0565）54-4771　FAX（0565）54-4755
●静岡営業所
〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-3-5
TEL（054）237-4424　FAX（054）237-1945
●浜松営業所
〒435-0016 浜松市東区和田町438
TEL（053）463-3021　FAX（053）463-4910
●四日市営業所
〒512-1303 三重県四日市市小牧町字高山2800
TEL（059）339-2140　FAX（059）339-2144
●名古屋支店
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1356　FAX（0568）77-3317

関　　西

●大阪営業所
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-3-20
TEL（06）6459-5775　FAX（06）6446-1955
●大阪東営業所
〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1-2-3（損保ジャパン守口ビル6階）
TEL（06）4250-6333　FAX（06）6991-7477
●堺営業所
〒591-8021 大阪府堺市北区新金岡町5-5-6（泉マンション1階）
TEL（072）253-0071　FAX（072）253-0054
●滋賀営業所
〒524-0033 滋賀県守山市浮気町字中ノ町300-21（第2小島ビル4階）
TEL（077）514-2650　FAX（077）583-4198
●京都営業所
〒612-8414 京都市伏見区竹田段川原町35-3
TEL（075）645-1130　FAX（075）645-4747
●奈良営業所
〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町460-15（オッシェム・ロジナ1階）
TEL（0743）57-6831　FAX（0743）57-6821
●神戸営業所
〒673-0016 兵庫県明石市松の内2-6-8（西明石スポットビル3階）
TEL（078）923-2121　FAX（078）923-0212
●大阪支店
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-3-20
TEL（06）6459-5770　FAX（06）6446-1945

中　　国

●広島営業所
〒730-0022 広島市中区銀山町3-1（ひろしまハイビル21 12階）
TEL（082）545-5125　FAX（082）244-2010
●岡山営業所
〒700-0916 岡山県岡山市西之町10-104
TEL（086）244-3433　FAX（086）241-8872
●山口営業所
〒747-0801 山口県防府市駅南町6-25
TEL（0835）38-3556　FAX（0835）22-6371

四　　国

●高松営業所
〒760-0055 香川県高松市観光通2-2-15（ダイヤビル）
TEL（087）834-9640　FAX（087）834-9633
●松山営業所
〒790-0053 愛媛県松山市竹原2-1-33（サンライト竹原1階）
TEL（089）931-6135　FAX（089）931-6139

九　　州

●北九州営業所
〒802-0976 北九州市小倉南区南方5-13-34
TEL（093）964-0785　FAX（093）964-0910
●福岡営業所
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-10-27（アスティア博多ビル5階）
TEL（092）473-7136　FAX（092）473-5540
●大分営業所
〒871-0015 大分県中津市牛神町1-11-1
TEL（0979）26-0725　FAX（0979）23-6866
●熊本営業所
〒869-1103 熊本県菊池郡菊陽町久保田2799-13
TEL（096）340-2580　FAX（096）340-2584

本　　社

●本社・工場
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）77-1111　FAX（0568）77-1123
●営業本部
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1303　FAX（0568）77-3410
●海外営業部
〒485-8551 愛知県小牧市応時2-250
TEL（0568）74-1338　FAX（0568）77-3461

CKD Corporation

Website　http://www.ckd.co.jp/

☐ 2-250 Ouji Komaki, Aichi 485-8551, Japan
☐ PHONE +81-(0)568-74-1338　FAX +81-(0)568-77-3461

U.S.A
CKD USA CORPORATION
●HEADQUARTERS
4080 Winnetka Avenue, Rolling Meadows, IL 60008 USA
PHONE +1-847-368-0539　FAX +1-847-788-0575
・CINCINNATI OFFICE
・SAN ANTONIO OFFICE
・SAN JOSE OFFICE

Canada
CKD CANADA
35 Green Valley Drive, Unit #409, Kitchener,
Ontario N2P 2A5, Canada
PHONE +1-519-208-5983　FAX +1-519-208-5983

Europe
CKD EUROPE BRANCH
De Fruittuinen 28 Hoofddorp 2132NZ The Netherlands
PHONE +31-(0)23-5541490　FAX +31-(0)23-5541491
・CZECH OFFICE
・BELGIUM OFFICE
・UK OFFICE

Malaysia
M-CKD PRECISION SDN.BHD.
●HEADQUARTERS
Lot No.6,Jalan Modal 23/2, Seksyen 23, Kawasan, MIEL,
Fasa 8, 40300 Shah Alam,Selangor Darul Ehsan, Malaysia
PHONE +60-(0)3-5541-1468　FAX +60-(0)3-5541-1533
・JOHOR BAHRU OFFICE
・MELAKA OFFICE
・PENANG OFFICE

Thailand
CKD THAI CORPORATION LTD.
●SALES HEADQUARTERS-BANGKOK OFFICE
Suwan Tower, 14/1 Soi Saladaeng 1, North Sathorn Rd.,
Bangrak, Bangkok 10500 Thailand
PHONE +66-(0)2-267-6300　FAX +66-(0)2-267-6305
・LAEMCHABANG OFFICE
・NAVANAKORN OFFICE
・RAYONG OFFICE
・LAMPHUN OFFICE
・KORAT OFFICE
・AMATANAKORN OFFICE

Singapore
CKD SINGAPORE PTE LTD.
705 Sims Drive #03-01/02, Shun Li Industrial Complex,
387384 Singapore
PHONE +65-6744-2623　FAX +65-6744-2486

Taiwan
日商喜開理股份有限公司台湾分公司
CKD CORPORATION TAIWAN BRANCH
台北市中山北路二段96號嘉新大樓第14樓1405室
Rm.1405,14F,No.96,Sec.2,Chung Shan N.Rd.,Taipei, Taiwan,R.O.C
PHONE +886-(0)2-2523-0374　FAX +886-(0)2-2523-5081

China
喜開理（上海）機器有限公司
CKD(SHANGHAI)CORPORATION
●営業部/上海事務所（SALES HEADQUARTERS / SHANGHAI OFFICE）
中国上海市黄浦区九江路333号金融廣場19楼1903室
Room 1903, 333 Jiujiang Road, Shanghai, 200001, China
PHONE +86-(0)21-63602277　FAX +86-(0)21-63511661
・無錫事務所（WUXI OFFICE）
・南京事務所（NANJING OFFICE）
・杭州事務所（HANGZHOU OFFICE）
・武漢事務所（WUHAN OFFICE）
・青島事務所（QINGDAO OFFICE）
・蘇州事務所（SUZHOU OFFICE）
・北京事務所（BEJING OFFICE）
・天津事務所（TIANJING OFFICE）
・長春事務所（CHANG CHUN OFFICE）
・大連事務所（DALIAN OFFICE）
・瀋陽事務所（SHENYANG OFFICE）
・西安事務所（XIAN OFFICE）
・重慶事務所（CHONGQING OFFICE）
・成都事務所（CHENGDU OFFICE）
・広州事務所（GUANGZHOU OFFICE）
・深圳事務所（SHENZHEN OFFICE）

Korea
CKD KOREA CORPORATION
Room No.1105, 11th FL, The Korea Teachers Pention B/L.
27-2, Yoido-Dong, Youngdeungpo-Gu, Seoul, 150-742, Korea
PHONE +82-(0)2-783-5201～5203 FAX +82-(0)2-783-5204
・華城営業所（HWASEONG OFFICE）

本カタログに記載の製品及び関連技術は、外国為替及び外国貿易法のキャッチオール規制の対象となります。
本カタログに記載の製品及び関連技術を輸出される場合は、兵器・武器関連用途に使用されるおそれのないよう、ご留意ください。
The goods and their replicas, or the technology and software in this catalog are subject to complementary export regulations by Foreign Exchange and Foreign Trade Law of Japan.
If the goods and their replicas, or the technology and software in this catalog are to be exported, laws require the exporter to make sure they will never be used for the development or the manufacture of weapons for mass destruction.

●このカタログに掲載の仕様および外観を、改善のため予告なく変更することがあります。
●Specifications are subject to change without notice.

2007.3.ACC